



●待降節第一主日

泉のほとり

今月の詩篇「第五〇編」

天は神の正しいことを告げ知らせる。

神は御自ら救きを行われる。

十字架の上の救い主

神さまをこの目で見ることも、その声をこの耳で聞くこともできません。ですから、見えないものは信じないという人には、神さまはわかりません。それではどうやって神さまがわかるかというと、主イエスを見るからです。主イエスのなまじることが神さまのなまじること、主イエスの言葉が神さまの言葉です。わたしたちは、主イエスを通して神さまを知ることができます。ですから主イエスを知らずに神さまを信じることはできません。これは大事なことです。

でも、その主イエスを通して示された神さまの御心は、わたしたちの想像外のものであります。それはただ一点、わたしたちを罪の支配から救い出すことだからです。

わたしたちが神さまに願うものはたくさんあります。でも罪からの解放を願うでしょうか。それを神さまは、わたしたちに最も必要なものとして、わたしたちが願う前から、与えてくださっているのです。

しかし多くの人は、それを理解しません。だから十字架にかかられた主イエスをののしり、侮辱しました。自分たちが願うローマからの解放を、主が実現してくださらなかったからです。役に立たない者として処刑し、ののしったのです。

しかし主は、侮辱されながら、自分をののしる者たちのために祈られました。彼らは自分が何をしているかわからないのだから、赦して欲しいと願われ

たのです。その通り、彼らは、主イエスが自分たちに一番必要な罪の救いを十字架の上で勝ち取ってくださったことを、知らなかったのです。

主イエスと共に、ふたりの強盗が十字架につけられました。そのうちの一人は、他の人と一緒に主をののしりましたが、他の一人はそれをたしなめました。自分たちは罪を犯したのだから、こうなったのは当然だと言ったのです。

自分は十字架で処刑されても仕方のない罪人だとわかった時に、その自分と共にいるために十字架にかかっておられる主イエスの姿が見えたのです。このようにして彼は、罪の支配から救われて、主イエスのものとなったのです。

ある母親と女の子が、空港の土産物売り場を訪れました。女の子は見るものが珍しく、事あるごとに「ママ、見て見て」と言っただけを呼びます。自分の買物で心がいつぱいの母親は、生返事をしていましたが、とうとう「ママを気安く呼びなさい。必要がある時だけ呼びなさい」と言いました。それから女の子は一切母親を呼びなくなりました。娘が自分を呼びなくなつたことに気づいた時に、母親は何と申すでしょうか。反抗期だからと思うでしょうか。

こうなつたのは当然だとわかった時に、わたしたちは罪から救われます。そのために主は十字架にかかられたのです。

(ルカ二三・三二〜四二)

祈り

主イエス・キリストの父なる御神、あなたはすでに豊かな御言葉を与えてくださっています。あなたが御言葉を聞かせてくださり、また、わたし共に祈りと讃美の言葉を与えてくださいましたから、礼拝を始めることができました。「主に従う人には災いが重なるが、あなたはすべての災いから助け出してくださる」、また「主は恵み深く、その憐れみは限りなし」と、いにしえの詩人の言葉に合わせて、わたし共も心豊かに歌うことができました。

一週間ぶりに合う兄弟姉妹の顔を見ながら、今日も皆、無事であったかと安堵の思いで挨拶を交わすことができました。とも喜びであります。そのようにして、わたし共の心があなたに向かって引き上げられ、主の御顔を見るように促されています。心を心から感謝いたします。あなたに、向かおうとするわたし共の思いを、再び思い煩いの中に、疑いの中に引きずり降ろそうとする力がなお働いています。どうか、どうぞそこから解き放ってください。何よりも、わたし共自身の中に巣くついている疑いの心が、また、あなたの御顔をまつすぐに見上げようとせず、他のものに心が奪われようとする思いがわたし共を一筋の心に生かさうとしないならば、あなたの御霊がそれを取り除いてください。礼拝の心に向かって解き放

たれていることを知る必要がありますように。

今、わたし共のなすべきことは、あなたを拝むこと以外に何もありません。あなたの御前にひざまずくこと以外に何もないのであります。他の誰の言葉でもない、あなたの御言葉を聞くために心注ぐ時であります。それを妨げているものは、自分にとつてどんなに大切なものと思われても、あなたがそれを取り除いてください。もしかすると、わたし共が、これこそどんなことがあつても手放したくないと思つているものがあるからこそ、あなたの恵みが見えなくなつていくかもしれない。どうぞ、そこから解き放つてくださいますように。

空しくなるということが、空しくされるということが、あなたの御霊と御言葉だけに支配されるということが、どんなに豊かですばらしいことであるかを、今、このところで知ることができそうです。そのため、どうぞ祈りをもって支え合うことができますように。この朝、主の食卓が整えられ、あなたが共にいてくださる思いがますます深くされますように。すべてがそのように備えられていることを思い、心からへりくだり、心から感謝を覚え、その感謝によつて自分の心が広げられる喜びを知ることもできますように。あなたの平安によつて満たされ、あなたが見させてくださった望みによつて光の子とされ、ここを立ち去ることができそうです。

主イエス・キリストの御名によつて、感謝し、祈り願います。アーメン

(加藤常昭「み前にこそ祈り」より)

今日のお知らせ

○今日からアドベント(待降節)です。二千年前に主イエスが馬小屋の幼な子として来てくださったことを祝い、世の終わりに再び来られることを思いながら過ごす時です。説教壇のろうそくに二本火が灯されました。

○アドベント推薦図書は、説教書想アレテイアの別冊「受肉の驚き 今、クリスマススをいかに語るか」です。クリスマススを語る説教について著名な学者や牧師・信徒たちがそれぞれのテーマに基づいて書いています。一部千六百円でデアコニアショップで販売しています。どうぞお読みください。

○第二礼拝後、ホールでアドベントを測る会をします。お昼はお弁当です。

○午後一時半から教会員懇談会を開きます。クリスマススイブ礼拝の体制について話し合いをします。

○一二月二四日(土)午後四時半と六時半の二回、クリスマススイブ礼拝を行います。今、受付、案内、献金奉仕などの奉仕者を募集しています。短時間でもご奉仕いただける感謝です。ロビーに奉仕部署の一覧がありますので、お名前を書き込んでください。

○禁園香音楽伝道師は、一二月九日(土)、栃木県のさくらコミュニティセンターでチャペルコンサートのお手伝いをします。お祈りください。

阿波だより

皆様いかがお過ごしでしょうか。石川です。「阿波ってどこ？」という声が聞こえてきそうですが、阿波（あわ）という旧称は、現在の四国・徳島県地方を指します。夏の阿波踊り、鳴門海峡の渦潮はご存知の方も多いと思います。私は、この七月から政府機関の地方移転に関する実証実験で、徳島市（県庁舎十階を問世）で勤務をしています。地方ですが、東京勤務という体の少し変わった状況です。こちらでは、最近よく言われる「働き方改革」が徹底され十九時には職場が消灯となります。徒歩二十分程のマンションに住んでいますので、遅くとも十九時三十分には帰宅できます。簡単な夕食を済ませお風呂に入り、三日に一度の洗濯やアイロン掛けをしても、ナイト、まだ夜の九時台！そして、十時十五分には、オヤスミナサイ……zzz。「えっ！ほんと？」という声が聞こえてきましたが、本当です。

徳島に赴く際に、仕事の上で全く新しい取組に参画できるのだから自分も変えてみよう、そうだ「白分革命だ！」という意気込みから、

いくつかのルールを勝手に作りチャレンジしています。早寝もその一つです。また、歩くことにも努めています。全国のほとんどの地方都市と同様に、徳島市も公共交通機関が脆弱なため、車が無いと生活し難い環境です。そこで、職場とよく利用する駅前の図書館の双方にそれぞれ徒歩二十分程度で行ける地域のマンションを探しました。これは本当に良い選択でした。休日には、時々遠くのショッピングモールにも行きますが、徒歩六十分以上かかるので、ちょっとした遠足となります。道すがら、車や自転車では気づくことができない、市井の「トマソン」(※ググってください)的趣味や、辻汪の匂いなど、徒歩だから得られる貴重な体験も楽しみです。

加えて、「自宅では一人で酒を飲まない」という律法もあります。もちろん、外では浴びるほど(?)飲むのですが、それは週に一回程度。お酒との付き合い方の見直し、また、よく歩き、早寝をした結果、体重も五キロほど落ちました。サイズは変わらないようなので、どの部分が減ったのか今も謎です。今後、徳島での成果を問われた際に、真っ先に「減量！」と言ってしまうそうです。

カンジナコトナダケド、「徳島ではどのような教会に通っているの？」という声が聞こえてきました。

それは、また、別の話し。

石川一記

聖書の会

12月6日(水)

朝の聖書の会 10時

罪と戦う愛

マタイ14章1〜12節

吉村和雄 牧師

朝の聖書の会 19時

「ダビデを王に」

使徒13章13〜25節

黄允澁 副牧師

ミニコンサート

12月14日(木) 13時開演

「サイレント・ナイト」他

ハンドベル演奏

次週礼拝

●第1礼拝(午前9時30分)

讃美歌 主を待ち望む 97番

説教 「悔い改めにふさわしい実を」

聖書 マタイ3章1節〜12節

説教者 吉村和雄 牧師

●第2礼拝(午前11時10分)

讃美歌 94番 335番

詩編 第50篇

説教 「無知を知らない無知」

聖書 マタイ7章1節〜6節

説教者 黄允澁 副牧師



第一礼拝 (午前9時30分)

讃美歌 主を待ち望む

97番

説教 「思いがけない時に」

聖書 マタイ24章36節～44節 (新約P48)

司式者 山下 純一 兄・聖餐司式 吉村和雄 牧師

説教者 黄 允浚 副牧師

前奏曲

○ 「主を待ち望む」 讃美歌21 242番

1.主をまちのぞむアドベント

さいしょのろうそくともそう

主が道をそなえられた この時を守ろう

主のたまよ よろこべ 主はちかい

2.主をまちのぞむアドベント

だい2のろうそくともそう

主がなされていたそのように

たがいにたすげよう

主のたまよ よろこべ 主はちかい

3.主をまちのぞむアドベント

だい3のろうそくともそう

主のめぐみ てりかがやきくらやみをてらす

主のたまよ よろこべ 主はちかい

4.主をまちのぞむアドベント

さいごのろうそくともそう

主はこのよに きたりたもう 心こめうたおう

主のたまよ よろこべ 主はちかい

○ フルートによる讃美

「ソナタBWV529」第1楽章よりJ.S.バッハ

○ 讃美歌97番

1.朝日は昇りて 世を照らせり

暗きにすむ人き たりあおげ

知恵に富みたる主 世にいでたり

愚かなる人は きたりまなべ

2.力にみつる主 世にのぞめり

かよわき人々 きたりたのめ

安きを賜う主 世にくだれり

苦しめる人は 来たり受けよ

3.救いを賜う主 世に生まれぬ

高きも低きも きたりいわえ

天地 (あめつち) しらす主 世にあらわる

※礼拝には、聖書、讃美歌、礼拝のしおりを毎週お持ちください。

第二礼拝 (午前11時10分)

讃美歌 95番 376番

詩篇 第50編 (旧約P883)

説教 「弱いときにこそ」

聖書 IIコリント12章1節～10節 (新約P339)

司式者 山下 純一 兄

説教者・聖餐司式 吉村和雄 牧師

前奏曲

○ 讃美歌 95番

○ フルートによる讃美

「ソナタBWV529」第1楽章よりJ.S.バッハ

○ 聖歌隊による讃美

「久しく待ちにし」 編:TAKE7

1.久しく待ちにし 主よとく来たりて

み民のなわ目を 解き放ち給え

主よ 主よ み民を 救わせ給えや

2.あしたの星なる 主よとく来たりて

お暗きこの世に 御光を給え

主よ 主よ み民を 救わせ給えや

3.ダビデの末なる 主よとく来たりて

平穏の花咲く 国を建て給え

主よ 主よ み民を 救わせ給えや

4.力の君なる 主よとく来たりて

輝くみくらに 永遠につき給え

主よ 主よ み民を 救わせ給えや

○ 讃美歌 376番

聖餐曲 「パン」 シェナイダー

後奏曲

よろずの物みな どよみうたえ

聖餐曲 「パン」 シェナイダー

後奏曲